

認知症の進行に合わせた「家族の心がまえ」や「ケアのポイント」

この表は、アルツハイマー型認知症の進行と主な症状をもとに作成しています。認知症の原因となる疾患や身体の状況などにより経過は異なりますが、今後を見通す参考にしてください。

ご本人 認知症の進行 (様子)	健康	認知症の疑い	ひとりで生活ができる	見守りが必要	手助け・介護が必要	常に介護必要
	●もの忘れが気になる ●お金の管理や買い物、書類の作成などはひとりでできる	●もの忘れにより生活しづらさがある ●日付や時間がわからなくなる ●買い物やお金の管理にミスがみられる ●日常生活はなんとか行っている	●買い物やお金の管理ができない ●服薬管理ができない ●電話の応対や訪問者の対応が困難になる ●道に迷うことがある	●着替え ●入浴 ●食事 ●排泄 ●整容(洗面・歯磨き・化粧)	●車椅子・ベッドでの生活が中心になる ●食事をとることが困難になる ●言葉による意思表示・理解が困難になる	
気持ち(例)	●否定、年齢のせい、言えばできるはず	●混乱	●認知症に振り回されてしまう、自分だけがなぜ、拒絶	●介護の疲れ	●割り切り	●受容
心がまえ	●学び、理解しましょう	●仲間をつくる情報収集しましょう!	●頑張りすぎない!	●まずは自分の健康を!		●終末期ケアについて確認しましょう!
ケアのポイント	気付き～相談	介護保険の申請等	日常的な支援、行動心理症状や身体合併症への対応		重度・終末期のケア	
対応のしかた	●地域包括支援センターやかかりつけ医に相談	●介護保険を申請 ●薬による治療 ●役割や社会参加の機会をもつ	●介護保険サービスの利用 ●地域での見守り、支え合い ●行動心理症状などは、認知症専門医療機関へ	●連絡先がわかる物を身につけましょう	●口腔ケア、五感への心地よい刺激を	
相談窓口	地域包括支援センター	居宅介護支援事業者(ケアマネジャー)				
家族支援	認知症オレンジカフェ、認知症の人と家族の会、富山県高齢者総合相談センター、認知症ほっと電話相談、ふれあい(若年性認知症)カフェ					
介護福祉	かかりつけ医	ホームヘルプ、デイサービスなどの介護保険サービス				
医療	あさひ総合病院、認知症疾患医療センターなどの専門医療機関		往診、訪問診療、訪問看護、訪問歯科診療、在宅要介護高齢者口腔ケア事業			
生活支援	地域での見守りや支え合い活動、民生委員、認知症サポートーー、配食サービス、緊急連絡カード、緊急通報装置貸与 権利擁護・財産管理、成年後見制度、軽度生活援助事業、外出支援サービス、日常生活用具貸与					
予防	介護予防教室、趣味や特技を活かせる場、ボランティア活動、シルバー人材センター 地域での交流の場、ふれあいきいきサロン、老人クラブ					
住まい	自宅 軽費老人ホーム(ケアハウス) サービス付き高齢者住宅 有料老人ホーム	小規模多機能施設、グループホーム、介護老人保健施設		特別養護老人ホーム		